

I 事業概要

埼玉県内の在留外国人は全国5位の約14万人で、県民のおよそ52人に1人が外国人であり、外国人住民は、共に地域社会を支える隣人となっている。

その一方で、生活習慣の違いや言葉の問題から生活のさまざまな面で、支援を必要としている外国人住民も増加している。

また、ヒト・モノ・カネ・情報などが、かつてないほどのスピードで、地球規模で行き交う「グローバル時代」が到来している。このようなグローバル時代に求められるのは、チャレンジ精神が旺盛で世界で活躍できる「グローバル人材」であり、迅速で適確な情報収集や情報発信である。

こうした背景を踏まえ、当協会では、「県民の国際交流・国際協力の積極的な推進」、「国際的に活躍できる人材の育成」及び「世界に向けた幅広い情報発信」を柱に事業を実施した。

1 国際交流・国際協力の積極的な推進

(1) 国際交流・国際協力に関する事業

ア 国際フェア 2015 の開催

県内NGOの活動発表や外国人等との交流を通して、国際交流・国際協力活動に対する県民の理解増進を図るため国際フェアを実施した。コープみらいなどと連携し、4イベントの同時開催とした。

実施日	場 所	参加団体数 ・ 来場者数	内 容
11月3日（日）	さいたまスーパーアリーナ（さいたま新都心）	32団体・ 5万人（4イベントの合計）	・NGOの活動の様子を紹介するパネル、写真等の展示 ・世界の料理や民芸品の販売 ・民族舞踊や音楽などのステージ発表

○共 催：独立行政法人国際協力機構（JICA東京）

○同時開催：「コープみらいフェスタ in スーパーアリーナ」（コープみらい）

「健康フェスタ」（医療生協さいたま）

「さいたま THE スイーツフェア」（埼玉県物産観光協会）

イ 専門的通訳・翻訳ボランティアの養成

日本語能力が十分でない外国人住民を支援するため、医療・福祉・法律などの専門的分野で活動する通訳・翻訳ボランティアを養成する講座を開催した。

(ア) 通訳ボランティア入門講座

これから通訳ボランティアとして活動しようとする県民を対象に、ボランティアの心構えや、通訳に必要な基礎知識などを学ぶ講座を開催した。

実施日	場 所	参加者	内 容
9月9日(水) 13:00～16:00	ソニックシ ティビル4 階市民ホー ル	66人	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 「通訳ボランティア地域で活動する前に知っ ておきたいこと」 (講師：東洋大学 社会学部社会福祉学科助教 門 美由紀 氏) ・S I A通訳・翻訳ボランティア制度説明 ・通訳体験談 ・国際交流員通訳者からアドバイス (埼玉県国際課国際交流員 ケラー ブレイン 氏 ホマーディング ジェーン 氏)

(イ) 通訳ボランティアレベルアップ講座

通訳ボランティアとして既に活動している登録者を対象に、法律相談に必要な法律用語や在留資格の知識についての講義や、法律相談の現場を想定したロールプレイを行う講座を開催した。

実施日	場 所	参加者	内 容
3月10日(木) 13:00～16:30	県浦和合同庁舎 5階会議室	23人	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア制度概要説明 ・講義「通訳に必要な法律用語と在留資格」 (講師：埼玉弁護士会 弁護士 渡邊佑樹氏) ・言語別に分かれてのロールプレイ

ウ ホームステイボランティア（ホストファミリー）の登録・紹介

ホームステイボランティアを行う家庭を募集・登録するとともにグローバル人材育成センター大学会員からの依頼に対して登録家庭を紹介した。

なお、日本語国際センター研修生については、平成25年度から市町村のホストファミリーの紹介調整も行っている。

また、日中友好交流の一環として来日した中国高校生友好交流大使 500 人訪日団のうち、埼玉県の友好州省である山西省から 90 人が来県し、ホームステイを通じ、県民と交流を深めた。

(ア) ホームステイボランティアの登録

- ・ 225 家庭

(イ) ホームステイボランティアの紹介

- ・ 紹介件数 延べ125 家庭
- ・ 受入人数 157 人

○埼玉県留学生交流推進協議会を通じた外国人留学生のホームステイ

実施日		受入人数
1	平成27年 7月11日（土）～ 7月12日（日）	24人
2	10月24日（土）～10月25日（日）	11人
3	平成28年 2月27日（土）～ 2月28日（日）	19人
計		54人

○（独）国際交流基金日本語国際センター研修参加者のホームステイ

実施日		受入人数
1	平成27年 5月16日（土）～ 5月17日（日）	7人
2	平成27年11月 7日（土）～11月 8日（日）	6人
計		13人

○中国高校生友好交流大使 500 人訪日団のホームステイ

実施日		受入人数
平成27年11月11日（水）～ 11月12日（木）		90人
計		90人

エ 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」の運営

公共団体と民間団体がそれぞれの機能や特色を活かしながら情報交換や協働活動を行うため、「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」を運営し、全体会と幹事会を開催した。

- (ア) 構成団体数 267 団体（平成 28 年 3 月末現在）
内訳 NGO等 202 団体、市町村 63、県、県国際交流協会

(イ) 活動状況

活動	実施日	場 所	参加者	主な内容
幹事会	5月26日 (火) 15:00～ 16:30	国際交流プラ ザ研修講座室	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業実績について ・平成27年度事業について ・全体会の内容及び進行について ・平成27年度幹事団体の選任について
全体会	6月 4日 (木) 13:30～ 16:30	県浦和合同庁 舎講堂	48人	<p>【第1部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新幹事団体の選任 ・平成26年度事業実績について ・平成27年度事業について <p>【第2部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小NGOのための組織力強化講座

オ 中古資機材の開発途上国への仲介

市町村等が保有する中古資機材を、NGOを通じて開発途上国に提供した。

提供資機材	数量	提供団体	委託団体(NGO)	受領者
救急車	1	埼玉県央広域消防本部	特定非営利活動法人民族フォーラム	ミャンマー連邦社会福祉省消防局・福祉局
救急車	1	入間東部地区消防組合消防本部	特定非営利活動法人民族フォーラム	ミャンマー連邦社会福祉省消防局・福祉局
救急車	1	蓮田市消防本部	特定非営利活動法人セネガル交流協会JAPAN	セネガル共和国 地方自治体

カ 国際交流協会担当者会議の開催

国際交流担当職員の交流の機会を設け、顔の見える関係を築き、連携強化を図る会議を開催した。

実施日	場 所	参加者	主な内容
2月1日(月) 14:00～ 16:00	浦和合同庁舎 講堂	市町村国際交流協会19名 市町村職員 18名	<ul style="list-style-type: none"> 「災害時多言語情報センター」について 栃木県の災害時外国人支援について 公益財団法人栃木県国際交流協会 業務課 課長代理 鶴山雄一氏 県内国際交流協会の災害時外国人支援について

(2) 県民の国際交流・国際協力活動の支援

彩の国さいたま国際協力基金助成事業

埼玉県内に活動の拠点を置く民間団体が行う国際協力事業3事業に対し、1,200千円の助成を行った。

○助成状況

	助成団体数(応募数)	助成事業数(応募数)	助成額
海外協力事業	2団体(2団体)	2事業(2事業)	1,000千円
県内協力事業	1団体(1団体)	1事業(1事業)	200千円
合計	3団体(3団体)	3事業(3事業)	1,200千円

○助成事業一覧

NO.	団体名	対象国	事業内容	助成額
海外協力事業				
1	特定非営利活動法人セネガル交流協会JAPAN	セネガル共和国	水道水濾過装置設置事業	500千円

2	コポトッコ・バングラデシ ユ	バングラデ シユ	バングラデシユ洪水被災 地の地域経済支援事業	500 千円
県内協力事業				
3	特定非営利活動法人街の ひろば	—	療育キャンプ	200 千円

○基金寄附受入額 4 1 4 千円

(3) 多文化共生社会の実現に関する事業

ア 外国人総合相談センター埼玉運営事業（県受託事業）

県内在住外国人住民を支援する相談窓口として「外国人総合相談センター埼玉」を設置し、電話で外国語（8言語）及びやさしい日本語による生活相談を行った。

また、出入国制度や法律に関する相談に対応するため、対面相談を中心とした専門相談を実施した。

併せて、外国人住民が訪れた公共機関窓口との電話による仲介通訳を行った。さらに、公共機関で外国人相談に従事している職員向けの研修会を実施した。

○相談件数：5,072 件（うち仲介通訳の件数 858 件）

○対応言語：英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、やさしい日本語

○対応時間：生活相談 毎週月曜日～金曜日 9：00～16：00

（専門相談）

入管相談 月曜日・水曜日・金曜日 9：00～16：00

労働相談 毎月第3火曜日 9：00～16：00

法律相談 毎月第4木曜日 13：00～16：00

(ア) 相談内容別件数

内 容	区 分	計	性別		相談方法			
			男	女	来所	電話	トリン	文書
1 在留資格・外国人登録・帰化		1,679	963	716	110	1,513	43	13
2 医療・福祉・年金		655	308	347	10	573	61	11
3 仕事・労働		613	381	232	25	567	14	7
4 協会事業		611	272	339	13	584	9	5
5 通訳・翻訳		308	136	172	20	276	8	4
6 税金・各種証明		246	134	112		224	22	
7 婚姻(DV)・親族		245	73	172	16	205	22	2
8 子育て・教育		159	69	90	3	154	2	
9 住まい		118	51	67	7	97	14	
10 暮らし		105	29	76	1	94	8	2
11 事件・事故		93	51	42	6	85	2	
12 生活日本語学習		71	33	38	3	64	1	3
13 文化・交流・観光・レジャー・交通 案内		58	29	29	2	52	2	2

14 免許・資格	24	18	6	2	22		
15 行政への意見	2		2		2		
16 その他	85	32	53	3	79	3	
合 計	5,072	2,579	2,493	221	4,591	211	49

(イ) 言語別件数

NO	言 語	件数	割合	NO	言 語	件数	割合
1	日本語	2,045	40.3%	6	ベトナム語	113	2.2%
2	スペイン語	1,159	22.9%	7	タガログ語	61	1.2%
3	中国語	716	14.1%	8	タイ語	20	0.4%
4	英語	593	11.7%	9	韓国・朝鮮語	13	0.2%
5	ポルトガル語	352	7.0%		合 計	5,072	100%

(ウ) 国籍別件数（上位 10 国）

NO	国 籍	件数	割合	NO	国 籍	件数	割合
1	ペルー共和国	1,172	23.0%	7	大韓民国	97	1.9%
2	日本国	1,050	20.7%	8	パキスタン・イスラム共和国	86	1.7%
3	中華人民共和国	1,044	20.6%	9	アメリカ合衆国	80	1.6%
4	ブラジル連邦共和国	349	6.9%	10	タイ王国	48	1.0%
5	フィリピン共和国	325	6.4%		その他※	684	13.5%
6	ベトナム社会主義共和国	137	2.7%		合 計	5,072	100%

※国籍不明・無国籍を除くと、相談者の国籍は 78 か国に及ぶ。

(エ) 相談件数全体のうち専門相談の件数

内 容	対面	電話等	合計
入国管理（東京入管委託団体）	89	756	845
雇用・労働（社会保険労務士）	13	17	30
法律（弁護士）	26		※26
合 計	128	773	901

※法律相談（26 件）の内訳

「婚姻・DV・親族」16、「雇用・労働」2、「事故・事件」4、「その他」4

(オ) 外国人相談業務のレベルアップのための研修会の実施

NO.	実施日	場 所	参加者数	内 容
1	11月29日 (土) 13:30～ 16:30	カルタスホール (北浦和)	39人	「日本語教室とソーシャルワーカーの連携を探る」 【パネルディスカッション】 コーディネーター：門美由紀氏（東洋大学 社会福祉部社会福祉学科助教） 日本語支援者2名 ソーシャルワーカー2名 【グループディスカッション】 コーディネーター：門美由紀氏

2	12月17日 (木) 13:30～ 16:30	浦和合同庁 舎講堂	50人	「医療・福祉等の現場における外国人支援」 【多文化共生支援機関状況調査報告】 埼玉県指定・認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター 副理事長 山崎友理氏、長谷川正江氏 【パネルディスカッション】 コーディネーター：大山典宏氏（社会福祉士） 埼玉県指定・認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター 副理事長 山崎友理氏、長谷川正江氏 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院 医療福祉事業課 課長 八木橋克美氏 （公財）埼玉県国際交流協会 島崎辰夫 【グループディスカッション・ふりかえり】 コーディネーター：大山典宏氏
---	----------------------------------	--------------	-----	--

イ 外国人無料法律相談

(ア) 埼玉弁護士会が毎週水・金曜日に実施している外国人のための無料法律相談の予約を仲介した。また、要請に応じてボランティア通訳を派遣した。

- 予約仲介件数：59件
- 通訳派遣件数：41件
- 対応言語数：7か国語

(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、韓国・朝鮮語、ベトナム語)

(イ) 無料法律相談会の開催（関東弁護士会連合会・埼玉弁護士会との共催）

実施日	場 所	相談人数	内 容
11月7日(土) 13:00～16:00	埼玉弁護士会法律相談センター (さいたま市)	13人 (対応弁護士6人)	・対応言語数：5か国語 （英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語） ・通訳派遣8人

ウ ボランティアの登録及び紹介

通訳、翻訳のボランティアの登録を受け付けるとともに、県、市町村、公益団体等からの依頼に対し、協会登録のボランティアを紹介した。

(ア) 通訳・翻訳ボランティアの登録者数及び紹介者数

言 語	登録者数	紹介件数
英語	397人	48件
中国語(北京語)	111人	60件
スペイン語	51人	28件

韓国・朝鮮語		37人	6件
フランス語		23人	11件
タイ語		17人	1件
ポルトガル語		15人	5件
フィリピン語（タガログ語）		10人	10件
ベトナム語		9人	9件
インドネシア語		8人	—
イタリア語		7人	—
上海語		7人	—
台湾語		7人	1件
広東語		6人	—
トルコ語		6人	—
ロシア語		6人	—
ドイツ語		5人	—
ウルドゥ語		3人	1件
ラオス語		3人	—
ルーマニア語		3人	—
アラビア語		2人	—
ミャンマー語		2人	—
シンハラ語		1人	—
モンゴル語		1人	—
合計（延べ人数）	24言語	737人	180件

(イ) 項目別件数

項目	主な内容	件数	割合
医療・福祉	病院受診、保育園面談	86	47.8%
海外研修	埼玉県・山西省友好県省医療衛生交流事業	25	13.9%
学校・教育	学校の保護者面談	2	1.1%
行政	博物館利用案内	4	2.2%
在住外国人支援	外国人入居者への説明	2	1.1%
法律相談	埼玉弁護士会	61	33.9%
合計		180	100%

エ 高校進学ガイダンス事業（県受託事業）

日本語を母語としない外国出身の生徒の高校進学を支援するため、「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を開催した。

また、高校進学に関する資料を6か国語（日本語・英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語）で作成・配布した。

（共催：公益財団法人埼玉県産業文化センター）

実施日	場 所	参加者	内 容
9月19日(土)	ソニックシティビル4階 市民ホール	94人※ (内訳： 児童・生徒 41人、 保護者・家 族47人、 引率教員 等6人)	・高校入試制度の説明 (入試スケジュール、学校説明会の案内、 学費など) ・外国出身の高校生の入試体験談 ・個別相談 (公立高校(9校)、高校生活全般、資格認定、 奨学金、日本語教室等)

オ 外国人のための災害時支援体制の整備

(ア) 災害時多言語情報センター運営訓練

当協会は災害時に国際課と連携して「災害時多言語情報センター」を設置
・運営することになっているため、ボランティアを対象とした通訳・翻訳訓練を開催した。

なお、電話通訳訓練は(公財)横浜市国際交流協会(YOKE)と連携して実施した。

実施日	場 所	参加者	内 容
2月25日(木) 13:30～ 16:30	浦和合同庁舎5階 第5会議室	17人※	・「災害時多言語情報センター」説明 ・電話通訳訓練(YOKEの災害訓練と 同時に実施) ・やさしい日本語及び多言語翻訳訓練

※参加者内訳：やさしい日本語4人、英語9人、中国語4人

(イ) 関東地域国際化協会間の災害連携について考える情報交換会及び作業部会

関東地域の国際交流協会では情報交換会及び作業部会を1回行い、広域連携による災害発生時の外国人住民支援のあり方について検討した。

また、平成27年9月に発生した茨城県常総市の洪水被害の際には、翻訳ボランティアによる翻訳支援を行った。

カ 多文化共生社会資源連携推進事業 (自治体国際化協会助成事業)

外国人支援者と医療・福祉などの専門家からなる「多文化ソーシャルワーク研究会」を開催し、本県における外国人支援の課題や対応策を研究する事業として実施した。

また、多文化共生支援機関状況調査を行い、外国人支援機関(医療・福祉機関)における外国人来訪者の状況を調査して報告書を作成し、関係機関に配布した。

活動	実施日	場 所	参加者	主な内容
第1回 研究会	5月12日(火) 14:00～ 16:00	国際交流プ ラザ 研修講座室	7人	・委員長選任・年間事業計画説明 ・多文化共生支援機関状況調査について
先進地 視察	7月17日(金) 13:30～16:30	(公財)とよな か国際交流協	9人	・とよなか国際交流協会の事業概要 ・市民活動共同デスクについて

		会【大阪府】		<ul style="list-style-type: none"> ・他機関との連携について ・居場所づくりについて ・施設内見学
第2回 研究会	9月25日(金) 14:00～ 16:00	国際交流プ ラザ 研修講座室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業概要・日程について ・とよなか国際交流協会視察報告、視察内容についての意見交換 ・多文化共生支援機関状況調査結果について、結果についての意見交換 ・今後の研修会の内容について・
通訳者 ・外国人 相談員 研修会 【再掲】	11月29日(土) 13:30～ 16:30	カルタスホー ル(北浦和)	39人	<p>「日本語教室とソーシャルワーカーの連携を探る」 【パネルディスカッション】</p> <p>コーディネーター：門美由紀氏(東洋大学 社会福祉部社会福祉学科助教)</p> <p>日本語支援者2名 ソーシャルワーカー2名</p> <p>【グループディスカッション】</p> <p>コーディネーター：門美由紀氏</p>
第3回 研究会	12月11日(金) 14:00～ 16:00	国際交流プ ラザ 研修講座室	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・通訳・外国人相談員研修報告、意見交換 ・ソーシャルワーカー研修会の検討状況を報告、意見交換 ・在住外国人意見聴取会検討状況報告 ・今後の事業展開の方向性について
ソーシ ヤルワ ーカー 研修会 【再掲】	12月17日(木) 13:30～ 16:30	浦和合同庁 舎講堂	50人	<p>「医療・福祉等の現場における外国人支援」 【多文化共生支援機関状況調査報告】</p> <p>埼玉県指定・認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター 副理事長 山崎友理氏、長谷川正江氏</p> <p>【パネルディスカッション】</p> <p>コーディネーター：大山典宏氏(社会福祉士)</p> <p>埼玉県指定・認定特定非営利活動法人 ふじみの国際交流センター 副理事長 山崎友理氏、長谷川正江氏</p> <p>社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院 医療福祉事業課 課長 八木橋克美氏 (公財)埼玉県国際交流協会 島崎辰夫</p> <p>【グループディスカッション・ふりかえり】</p> <p>コーディネーター：大山典宏氏</p>
在住外 国人意 見聴取 会	1月15日(金) 13:30～ 16:30	さいたま市 商工会議所 会館会議室	10人	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や福祉機関等へ行って感じたこと ・他国の医療通訳はどうなっているのか ・病院や福祉機関等に望むこと

2 国際的に活躍できる人材の育成

(1) 「グローバル人材育成センター埼玉」(略称：GGS)の運営(県受託事業)

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の県内企業への就職までトータルに支援するセンターを運営し、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を推進した。

ア 海外留学の促進

(ア) 「埼玉発世界行き」奨学金申請受付及び審査等

県がグローバル人材を育成するために設置した「埼玉県グローバル人材育成基金」により運営する奨学金の申請受付・審査等を実施した。

- 学位取得コース (応募 79人、合格 15人)
- 協定・認定留学コース (応募 292人、合格 200人)
- 理系短期留学コース (応募 22人、合格 20人)

(イ) 奨学生壮行会・帰国報告会

留学予定の奨学生を激励する壮行会と、留学を終えた奨学生の帰国報告会を併せて開催した。

実施日	場 所	参加者数	内 容
8月5日(水)	ソニックシティ 小ホール、国際会議室	214人	・奨学生の激励壮行会 ・帰国した奨学生の報告会

(ウ) 「海外留学フェア」の開催

留学への機運を醸成するために、留学相談・情報提供等を行う「海外留学フェア」を開催した。

実施日	場 所	参加者数	内 容
12月19日(土)	ソニックシティ ビル4階 市民ホール	126人	大使館等、JASSO 日本学生支援機構ほか、20ブース出展

(エ) グローバルリーダー研修の実施

帰国した「埼玉発世界行き」奨学生等を対象に、国際舞台をターゲットにしたキャリアを積むために必要な研修プログラムを実施した。

実施日	場 所	参加者数	内 容
8月24日(土)～ 2月1日(月)	埼玉大学、埼玉大学 サテライトキャンパ ス、日本語国際セン ター	日本人 68人 外国人留学生 25人	①グローバル・キャリア論 I ②Introduction to Japanese Culture ③Japanese Culture ④International Development Consulting : Practical Application ⑤Leadership and Management Practices in International NGOs ⑥Communication for Global Leaders ⑦Insights into International Development ⑧Leadership and Management Practices in International Organizations ⑨International Public Administration ⑩Japanese Politics and Foreign Policy ⑪Thought , Philosophy and Religion of Japan ⑫Security Issues in East Asia

(オ) 「埼玉発世界行き」 留学準備セミナー

「埼玉発世界行き」 帰国奨学生が留学の魅力語る機会を増やし、これから留学しようとする若者にその魅力をPRする「埼玉発世界行き」 留学準備セミナーを開催した。

実施日	場 所	参加者数
3月29日(火)	浦和コミュニティセンター	121人

イ 外国人留学生の支援

(ア) PRリーフレットの作成・配布

県内大学への留学生拡大のため、本県の産業・観光等の紹介、県内大学のPRを行う冊子を多言語(日・英)で作成し、県内及び首都圏に設置する日本語学校、関係機関等に配布した。

○発行部数：1,000部

(イ) JAPAN STUDY SUPPORT の利用

県内大学への留学生拡大のため、外国人向けに留学や大学の情報を発信しているサイトの「留学生支援に取り組む地方自治体」紹介ページに、埼玉県の情報を掲載。

言語 8言語 <日本語、英語、中国語（簡体語）、中国語（繁体語）、
韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語>

掲載 平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(ウ) ホームステイあっせん（再掲）

グローバル人材育成センター埼玉の大学会員である大学の外国人留学生に県内家庭でのホームステイをあっせんし、日本文化に対する理解を深める機会とした。

実施日		受入人数
1	平成27年 7月11日（土）～ 7月12日（日）	24人
2	10月24日（土）～10月25日（日）	11人
3	平成28年 2月27日（土）～ 2月28日（日）	19人
計		54人

(エ) 生活相談の実施（再掲）

埼玉県国際交流協会が受託している外国人総合相談センター埼玉を活用し留学生の相談に対応した。

相談実績 176件

ウ 就職支援

(ア) 無料職業紹介（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

①	求人登録	704人
②	登録学生	518人（うち外国人留学生 366人：中国、ベトナム、ネパール、韓国、インド、タイ、パキスタン など）
③	県内企業への内定	80社 91件
④	マッチング件数	83社 1,204件 （うち内定 24社 28件）
⑤	就職相談等	728件

(イ) 日本人・外国人留学生対象企業説明会

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生を対象に、企業説明会を実施した。

平成27年6月16日（火） ソニックシティビル 4階市民ホール

参加企業 44社

参加学生 281人（うち外国人留学生 259人）

(ウ) GGS JOB FAIR

日本人・外国人留学生対象としたインターンシップ説明会と就職面接会を開催。

平成27年11月30日（月） ソニックシティビル 4階市民ホール

参加企業 18社

参加学生 87人（うち外国人留学生 84人）

(エ) 企業インターンシップ（7～9月）

将来活躍したい企業や団体でのインターンシップを行うことにより、グローバル社会で活躍するために必要な「実践力」を養う目的で実施。

実施時期 平成27年7月～9月

参加学生 延べ46人（うち外国人留学生 13人）

受入企業・団体 27社・団体

(オ) インターンシップセミナー

2016年春以降就職活動を開始する外国人留学生向けに、インターンシップ活動のメリットや注意事項、心構えをガイダンス。（GGJ JOB FAIR と同時開催）

平成27年11月30日（月） ソニックシティビル 4階市民ホール

参加学生 22人

(カ) 就職セミナー

大学会員に在籍する日本人・外国人留学生及び日本人海外留学経験者向けに、日本の就職活動に必要な情報をガイダンス。（GGJ 交流ボーリング大会と同時開催）

平成28年1月24日（日） プラザホテル浦和

参加学生 28人（うち外国人留学生 21人）

エ 交流促進

(ア) GGS 交流ボーリング大会

県内の外国人留学生、日本人海外留学経験者と県内企業がスポーツを通じ交流を深める GGS 交流ボーリング大会を実施。

平成28年1月24日（日） 浦和スプリングレーンズ

参加企業 10社 15人

参加学生 31人（うち外国人留学生 24人）

(イ) 「埼玉学のすすめ」バスツアー

埼玉の伝統文化で日本人・外国人留学生の相互交流を図る「埼玉学のすすめ」バスツアーを埼玉県留学生交流推進協議会との共催で実施した。

平成27年12月13日（日）

場所 秩父市（秩父藍染体験）、小鹿野町（小鹿野歌舞伎）、長瀨町（長瀨散策）

参加学生 67人（うち外国人留学生 44人）

(ウ) 「グローバル人材埼玉ネットワーク」の運営

埼玉県にゆかりのあるグローバル人材や県内の企業・団体・大学等を会員とする「グローバル人材埼玉ネットワーク」を運営。

メルマガ発行 16回

会員数 1,006人・団体（会員：956人、団体：50団体）

(エ) 大学主催の英語スピーチコンテスト等での知事賞提供

英語力向上を通じ、グローバル人材の育成を促進するために、会員大学主催の英語スピーチコンテストに対し知事賞を提供。

実施大学：城西大、聖学院大、大東文化大、獨協大

(オ) 「埼玉発世界行き」奨学生壮行会・帰国報告会（再掲）

アジア開発銀行駐日代表 玉置知己氏による講演を実施した。

平成27年8月5日（水） ソニックシティ小ホール

参加者数：214人（「埼玉発世界行き」奨学生含む）

オ 「世界へのトビラ」事業

学校等での国際理解教育を支援するため、授業に外国人講師を派遣するとともに、指導者育成のための研修会を開催した。

(ア) 外国人講師の国・地域別登録者数

(平成 28 年 3 月末現在)

地域	国	登録人数 (人)	派遣実人数 (人)	派遣延べ人数 (人)
アジア	インド	0	1	2
	インドネシア	5	4	18
	韓国	13	2	13
	カンボジア	2	1	1
	キルギス	1	1	5
	スリランカ	1	2	3
	タイ	2	2	12
	台湾	3	1	2
	中国	17	6	7
	中国 (ウイグル)	5	2	3
	中国 (チベット)	1	1	1
	中国 (香港)	2	1	1
	ネパール	3	2	9
	パキスタン	1	0	0
	フィリピン	3	1	4
	ベトナム	1	0	0
	マレーシア	2	1	6
	ミャンマー	2	1	2
	モンゴル	2	1	2
	中東	イラン	1	0
サウジアラビア		2	2	3
大洋州	オーストラリア	1	0	0
北米	アメリカ	1	1	1
ヨーロッパ	イタリア	3	0	0
	ハンガリー	3	2	3
	フランス	1	1	14
	ロシア	6	4	16
アフリカ	コンゴ共和国	1	1	1
	セネガル	1	0	0
	マリ	1	0	0
中南米	アルゼンチン	1	0	0
	エクアドル	1	1	1
	コロンビア	3	1	8
	パラグアイ	1	1	5
	ブラジル	2	1	1
	ペルー	6	4	21
	メキシコ	0	1	5
	無国籍	1	0	0
	合計	102	50	170

(イ) 日本人講師・アドバイザーの登録者数 52人
 (青年海外協力隊の元隊員、NGO活動や海外でのボランティア経験者等)

(ウ) 教育現場等への講師派遣

○対象：県内の小・中学校、高等学校、養護学校等の教育機関及び国際理解を推進している県内の公益的団体

○実績

派遣先	件数	生徒等参加人数
小学校	11件	1,434人
中学校	14件	3,370人
高等学校	7件	1,909人
その他の教育機関※	5件	535人
NGO団体等	10件	379人
合計	47件	7,627人

※その他の教育機関：中高一貫校・専門学校

(エ) 講師育成のための研修

「世界へのトビラ」事業の登録講師を対象に、講師による授業研究や意見交換など、実践にむけた研修を開催した。

実施日	場所	参加者	内容
3月4日(金)	県浦和合同庁舎 会議室	29人 (外国人講師21人、 日本人講師・アドバイザー8人)	1 授業研究 (1) 外国人講師5名による模擬授業 (2) グループワーク グループごとに「授業を通じて子供たちに伝えたいこと」について話し合い、発表。 2 交流会

(オ) 指導者のためのセミナー開催

(A) 「教員のための国際理解教育セミナー」

共催：埼玉県ユニセフ協会、(独)国際協力機構(JICA 東京)

実施日	場所	参加者	内容
7月27日(月)	浦和合同庁舎 別館A会議室	47人 (小学校教員7人、 中学校教員13人、 高校教員3人、特 別支援学校教員2 人、学生5人、N GO13人、その他 4人)	1 基調講演 「グローバル時代の人間形成とは～ 学びの問い直し」 目白大学人間学部 学部長 多田孝志氏 2 分科会 ① ワークショップ「開発途上国 の視点から考える国際理解教育」 JICA東京 ② 外部講師の授業「外国人講師に よる模擬授業」 地球市民育成事業外国人講師

			<p>タキシルバシエワ ケレザ氏 (キルギス)</p> <p>③ ワークショップ「逃げなくては なりません。その時何を!？」 埼玉県ユニセフ協会</p> <p>3 ふりかえり 株式会社 メディア総研 福田 訓久氏</p>
--	--	--	--

(B) グローバルセミナー2016

地域で育むグローバル市民～子どもの未来と平和について考えてみ
よう!～

実施日	場所	参加者	内容
2月7日(日)	コーププラザ浦 和(南浦和)	83人 (教員 20人、 学生 29人、 NGO 19人、 その他 15人)	<p>1 発表、ワークショップ 「途上国の子どもの今と未来 は?～学校での国際理解教育 実践例を通して～」 平成27年度JICA教師海外研 修(ザンビア、モンゴル)参加 教員</p> <p>2 課題別グループ討議</p> <p>① 「子どもにとっての平和と は?～それぞれの思いや願 いから考えてみよう～」</p> <p>② 「途上国の子どもの問題とは?～問 題の原因と解決策を考えよう～」</p> <p>③ 「子どもにとっての難民問題とは? ～難民の子ども未来について考え よう～」</p> <p>④ 「子どもにとっての多文化共生社 会とは?～マレーシアの取組みか ら考えよう～」</p> <p>⑤ 「地域で育むグローバル市民とは? ～子どもの社会参加への取組みから 考えよう～」</p> <p>ファシリテーター 拓殖大学国際学部 准教授 石川一喜氏</p> <p>4 パネルディスカッション、 全体ふりかえり 「子どもの未来と平和のために市民 が果たす役割～グローバルな連携の</p>

			中で、地域で行動する～ グローバル教育フォーラム理事 赤石和則氏
--	--	--	--

共催：埼玉国際協力協議会(埼玉 NGO ネット)、(独)国際協力機構 (JICA 東京)

カ 高校生のためのグローバルセミナーの開催

高校生の国際理解を促進し、グローバル人材として活躍できる若者を育成するため、ワークショップ形式のセミナーを開催した。

埼玉大学と共催し、「埼玉発世界行き」帰国奨学生、留学経験のある日本人学生及び外国人留学生等にグループリーダーとして参加してもらい、高校生が世界に興味を持つきっかけづくりとした。

実施日	場 所	参加者	内 容
11月29日(日)	浦和コミュニティセンター集会室	55人 (高校生25人、 大学生30人(日本人学生10人、外国人留学生20人))	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング ・講演「世界を知り、世界基準で考えよう！」 講師：埼玉大学国際本部 留学交流支援室長・教授 中本進一氏 ・グループワークと発表 ・中本教授による講評

(2) 国際理解の促進

NACK 5 高校生海外スポーツ研修プログラムの実施

株式会社エフエム ナックファイブの御寄附により、埼玉県・クイーンズランド州の姉妹友好州省提携30周年を記念し、研修プログラムを実施した。

○旅行期間：平成27年8月16日(日)～22日(土) <5泊6日>

○訪 問 地：オーストラリア クイーンズランド州

○派遣人数：県内に在学・在住する高校生8名

○研修概要

クイーンズランド州では、州立のスーパースポーツセンターに滞在し、現地トレーナーと共に連日リーダーシップ養成トレーニングや各種トレーニングを行った。また、州立パシフィックパインズ高校(在籍生徒数1,043名)を訪問し、スポーツ交流や日本語を学んでいる生徒との交流を行った。

3 世界に向けた幅広い情報発信

ア 国際交流プラザ運営事業

県民参加の国際交流・国際協力を推進するため、NGOやボランティア等に対して情報交換や交流の場を提供するとともに、団体等の日頃の活動場所や講座の実施場所として研修講座室を貸し出した。

また、各団体の通信の窓口としてのメールボックスや、活動備品を保管するロッカーの貸出しを行った。

項 目	利用者数・件数
開館日数	243日
利用者合計	8,382人
(内訳) 日本人	6,585人
外国人	1,797人
1日当たりの利用者数	34人
研修講座室	204件
メールボックス利用団体	6団体
ロッカー利用団体	5団体

イ 情報紙やホームページによる情報発信（国際情報発信事業）

(ア) 情報紙「フレンドシップニュース」の発行

協会事業やNGO活動等を広報するため、協会情報紙「フレンドシップニュース」を発行した。

回数	部数	配布先
年4回	4月号5,500部 7,10,1月号 各4,500部	賛助会員、彩の国国際交流・協力ネットワーク登録団体、 市町村、県関係機関、公民館等

(イ) メールマガジン「埼玉県国際交流協会(SIA)ニュース」の発行

当協会やNGOの活動情報等を、インターネットを通じたメールマガジンとして発行した。

発行回数	登録者数（平成28年3月末現在）
27回	128人

(ウ) ホームページによる情報発信

ホームページで、国際交流・国際協力に関する情報を発信した。

4 収益事業

写真撮影事業

パスポート取得者に対する利便を図るため、写真撮影を行った。

また、クレジットカード会社との提携のもとに撮影料の割引サービスを提供した。

写真撮影利用者数	カード申込者数
47,223人	6,204人

5 協会運営

(1) 賛助会員加入促進

当協会の目的・事業に賛同する個人や団体を賛助会員として募った。賛助会員から納付された年会費は、国際交流事業や国際協力事業の費用に充当している。

○加入状況（平成28年3月末現在）

個人会員	学生会員	サポーター会員	団体会員	NGO会員	合計
348人	4人	40人	88団体	36団体	392人・124団体

(2) 理事会の開催

回	開催日	場所	主な審議事項
第1回	4月1日(水)	書面表決	・理事長（県民生活部部付き・椎木隆夫氏）の選任について
第2回	5月20日(水)	浦和合同庁舎	・平成26年度事業報告（案）について ・平成26年度決算報告（案）について ・評議員会の招集について ・事務局組織規定の一部改正について
第3回	6月1日(月)	書面表決	・理事の任期満了に伴う改選による理事長（県民生活部部付き・椎木隆夫氏）の選任について
第4回	1月16日(土)	書面表決	・評議員選定委員会委員（サイタマディス経営者クラブ会長・増井千恵子氏）の選任について
第5回	3月15日(火)	浦和合同庁舎	・定款の一部改正（案）について ・中期経営計画の策定について ・平成28年度事業計画（案）について ・平成28年度収支予算（案）について ・評議員会の招集について

(3) 評議員会の開催

回	開催日	場所	主な審議事項
第1回	6月1日(月)	埼玉会館	・理事の選任及び解任について ・平成26年度事業報告（案）について ・平成26年度決算報告（案）について
第2回	9月30日(水)	書面表決	・理事の選任について
第3回	3月28日(月)	さいたま共済会館	・定款の一部改正（案）について ・理事の選任について ・平成28年度事業計画（案）について ・平成28年度収支予算（案）について

(4) 評議員選定委員会の開催

回	開催日	場所	主な審議事項
第1回	5月11日(月)	書面表決	・評議員1名（国際協力機構東京国際センター所長・佐々木十一郎）の選任について
第2回	3月4日(金)	書面表決	・評議員1名（日本放送協会さいたま放送局長・松岡健三氏）の選任について